

## 第3章

## 甲州市の教育の目指す姿

## I 基本理念

## 人・自然・ふるさとを愛する 甲州教育

本市では、「豊かな自然 歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち」を目指すべき将来像とする「甲州市総合計画」を策定し、まちづくりを進めています。その中で教育分野の将来像を実現するため「心豊かな人を育む教育・文化のまちづくり」を基本目標として掲げ、子どもたちが学校に通うことを楽しいと感じ、人やふるさと、自然を愛し、大人になってもふるさと甲州市に愛着がもてる教育を基本理念として、本市の教育を推進します。

学校や社会のそれぞれの場において、ともに学び、学びをとおして、家庭と地域と学校など社会全体が、それぞれに支えあい、市民が生涯を通じて生きがいをもって学ぶことができる社会づくりに取り組み、学びの成果を高めあうことのできる教育の実現を目指します。

## 2 基本目標

本市が目指す甲州教育の基本理念を実現するため、今後実践していく教育施策の柱となる2つの基本目標を掲げ、取組を進めます。

### 学校教育の基本目標

#### たくましく 心豊かな人づくり

子どもたち一人ひとりの個性を大切にし、ふるさとに対し愛着と誇りを持ちながら、社会生活に必要な知識や技能を習得し、地域に生きる人間として、親の思いや気持ちをしっかり受け止め、自らの生きる道は自らの判断でしっかりと見定め、社会でたくましく生きていくための力を身につけ、知・徳・体の調和がとれた児童生徒の育成を目指します。

### 生涯教育の基本目標

#### ともに学びあい ともにふれあい ともに支えあい

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、主体的に学ぶことができるよう、市内の多彩な人材や生涯学習施設、文化財など豊富な学習資源を活かしながら、スポーツ・文化芸術活動も積極的に支援するとともに、すべての市民が各々の学習成果を様々な場で活かすことができるなど、生涯にわたって心豊かな人生を送ることができる生涯学習の実現を目指します。

### 3 重点施策

基本目標を達成するため、4つの基本方針を定め、特に重要な11の施策を実施します。

#### 基本理念 人・自然・ふるさとを愛する 甲州教育

学校教育の基本目標

⇒ たくましく 心豊かな人づくり

生涯教育の基本目標

⇒ とともに学びあい とともにふれあい とともに支えあい

#### 基本方針1 義務教育の充実

施策項目1:新しい時代を生き抜く資質・能力(確かな学力)の育成

施策項目2:生命や人権を尊重する豊かな心の育成

施策項目3:健康で安全に生活する力を育む健やかな体の育成

施策項目4:自立と社会参加・貢献を実現する教育の推進

施策項目5:家庭や地域・社会と連携・協働した教育活動の展開

施策項目6:質の高い教育を支える教育環境の整備と教職員の育成

#### 基本方針2 生涯学習の推進

施策項目7:だれもが学び続けることのできる環境づくりの推進

施策項目8:青少年の健全育成

施策項目9:仲間とふれあい健全な心身を育むスポーツの推進

#### 基本方針3 読書活動の推進

施策項目10:本に親しみ豊かな心を育む生涯読書の推進

#### 基本方針4 文化財の保護と活用

施策項目11:次世代への郷土伝統と文化財の継承

## 基本方針 1

## 義務教育の充実



SDGs との関

目指すべき姿・取り組みの方向性

学習指導要領が目指す、変化の激しい社会において自ら課題を見つけて、考え、判断して行動のできる力（知）、思いやりや感動する心など豊かな人間性（徳）、たくましく生きるための健康や体力（体）を身に付けるため、デジタルとリアルな体験を組み合わせ、子どもたちが、自ら選択・決定し、行動することを大切にした「子ども主体の学び」づくりに取り組みます。

現状と課題

- これからの社会は、将来の変化を予測することが困難な時代であり、このような時代を生き抜くため、「確かな学力」の育成が必要です。
- 規範意識や自己肯定感の不足等が指摘されているため、自らを律しつつ、他者を思いやる心など「豊かな心」の育成が必要です。
- 生涯にわたり健康で豊かな生活を送るため、体力の向上や望ましい食習慣を身に付けるなど、「健やかな体」の育成が必要です。
- 子どもの育ちと学びが切れ目なく続くためには、乳幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続が必要です。
- 複雑化・多様化している学校の課題への対応、よりよい教育環境を確保するため学校と地域の効果的な連携・協働の推進が必要です。

## 施策項目1

### 新しい時代を生き抜く資質・能力(確かな学力)の育成

- 子どもの「生きる力」を育み、「確かな学力」を身に付けられるよう、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり・授業改善を進めます。
- ICT 端末を学習ツールの一つとして、子どもの可能性を広げる「個別最適な学び」や「協働的な学び」が実現できるよう、積極的な活用を進めます。
- ALT（外国語指導助手）を活用して、外国語教育の充実を図るとともに、国際理解教育を推進します。また、「ふるさと甲州」について、子どもが英語で自信をもって紹介することができる力を養います。
- 子どもの英語力の水準や英語学習に対する意識・意欲の向上を図るため、外部検定試験への補助事業に取り組みます。
- 危険に際して自らの命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するとともに、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める教育を進めます。

## 施策項目2

### 生命や人権を尊重する豊かな心の育成

- 社会生活上のきまりを身に付けさせるとともに、他者を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を育むため、家庭との連携を密にし、学校の教育活動全体を通じて道徳教育に取り組みます。
- 自分のよさを認識し自己肯定感を育むとともに、一人ひとりの個性や文化の違いなど多様性を尊重できる人権教育を推進します。
- 「わだつみ平和文庫」などを活用して、平和教育を推進します。

### 施策項目3

#### 健康で安全に生活する力を育む健やかな体の育成

- 健康への意識を高め、望ましい基本的な生活習慣を身に付けさせることで、心身の健康を保持増進する資質・能力を育成します。
- 学校における体育活動を充実させ、生涯にわたってたくましく生きるために必要な心身の健康や体力の向上を図ります。
- 子どもの運動機会の確保や体力テストの活用などに努め、体力や運動意欲の向上を図ります。
- 学校給食の地産地消の推進、郷土食や行事食、旬の食材等を取り入れ、食文化や望ましい食生活等の食育を推進します。
- 子どもたちの多様なスポーツの体験機会を確保するため、地域と協働して、部活動の地域移行の取組を積極的に進めます。

### 施策項目4

#### 自立と社会参加・貢献を実現する教育の推進

- 特別支援教育の更なる充実に向けて取り組みます。また、インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を進めます。
- 「ふるさと甲州」の自然、歴史、産業、文化等を教育に積極的に活用し、地域に愛情をもち社会の一員として貢献しようとする態度を養います。
- 家庭や地域、企業や関係諸機関などと連携して、発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。
- 地域の多様な人材との協働を図り、持続可能な循環型社会の実現を目指した教育を推進します。



## 施策項目5

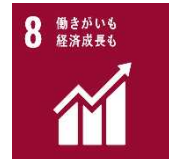
### 家庭や地域・社会と連携・協働した教育活動の展開

- コミュニティ・スクールの発展・充実を支援するとともに、学校と家庭、地域が連携・協働した教育活動の実施に取り組み、「地域とともにある学校づくり」を推進します。
- 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携を深め、幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けた取組を推進します。
- 給食費の無償化や各家庭の経済状況に応じた就学援助、補助事業により、安心して学ぶことができる環境づくりに取り組みます。
- 児童生徒が自身で判断して行動できる力と態度を育成するため、学校だけでなく家庭や地域と連携し情報モラル教育を推進します。
- 貧困や虐待等、学校だけでは解決が困難な課題に対し、関係諸機関や庁内関係部署と組織的に対応できるよう連携の強化を図ります。

## 施策項目6

### 質の高い教育を支える教育環境の整備と教職員の育成

- 不登校やいじめ等の課題の未然防止及び早期発見・早期支援に取り組み、子どもたちが安心して学べる教育環境づくりを進めます。
- 子どもたちが、より充実した環境で教育を受けられるよう、基本方針に基づき市内中学校の再編に取り組みます。
- 全ての教職員が、子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援することができるよう、理論と実践を往還する研修の充実に取り組みます。
- 子ども支援スタッフの配置や地域の外部人材等を効果的に活用することにより指導体制の充実を推進するとともに、学校における働き方改革を進めます。
- ICT 機器、教材備品等の計画的な整備に取り組み、「デジタル」と「リアル」を最適に組み合わせた学習環境づくりに努めます。



### 目指すべき姿・取り組みの方向性

人生 100 年時代において、誰一人取り残されることなく、暮らしの質を高め、生きがいを感じ、豊かな人生を送ることができる社会を目指すため、生涯学習の機会の充実を図り、学びを通じて個人の成長を期するとともに、他者と学び、認め合うことで相互のつながりを形成していくための社会教育に取り組みます。

### 現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、社会教育施設の利活用、生涯学習講座や各種イベントの実施など生涯学習活動やスポーツ活動などのあり方に大きな影響を与えました。
- 市民のライフスタイルが多様化する中で、自己形成・自己啓発を図る上でも生涯学習に対する関心は高まってきてはいるものの、集団での生涯学習活動は減少傾向にあります。
- 次代を担う青少年が社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加するため、家庭・地域・教育機関・行政が連携し、青少年期の健全育成に必要な環境づくりを進めることが求められています。
- 社会教育は、個人の成長と地域社会の発展に重要な役割があり、特に学びを通じた住民相互のつながりを深めることで、地域の課題に向き合いながら地域独自の強みや特色を生かした取組の推進が期待されています。



## だれもが学び続けることのできる環境づくりの推進

- 新型コロナウイルス感染症により社会情勢が変化するなか、人生 100 年時代を心豊かに生きるために、市民の多様な学習ニーズに対応した学習機会が確保され、すべての市民が、どのようなライフスタイル・ライフステージでも「学べる、活かせる、つながる」生きがいのある暮らしを実現するための生涯学習を推進します。
- 子どもから高齢者まで各年代に合わせた学習活動が容易となるよう、学習環境を整備し充実を図るため、出前講座の充実を図るなど、行政の役割を見直すことで、市民が自ら企画・展開する力を育むとともに、行政と協働して生涯学習機能を強化できるよう取り組みます。
- 市民が地域に安心して生き生きと住み続けられる環境づくりのため、また、年齢にとらわれることなく主体的に活動し、自立した生活を送ることができるよう、地区公民館・自治公民館での活動を通して心身の健康づくり、生きがいづくり、社会参加につながる機会の提供と、市民誰もが普通に日常を送ることができるノーマライゼーション社会を目指した学習機会の充実に努めます。
- 市民の自主的な学習活動の支援のために、ICT を活用しての講座のオンライン配信や SNS 配信など、学習機会にアクセスしやすい環境の整備と充実を図り、学びの機会と可能性を広げます。
- これからを担う子どもたちをはじめ、多くの市民が、わだつみ平和文庫の資料等を見学し、あらためて戦争の悲惨さ、平和の尊さを考えることができるよう、公開の方法を見直しつつ学習の機会を提供し、平和教育を推進します。
- 子どもたちの多様な文化芸術等に親しむ機会を確保するため、地域と協働して、中学校部活動の地域移行の取組を積極的に進めます。

## 青少年の健全育成

- 将来を担う青少年が社会の中で自立し、他人を思いやる心を育み、喜びを実感し、ふるさとを愛し、地域の課題解決を主体的に担うことのできる人材として成長するには、青少年育成指導者として周りの大人たちの関与が必要です。青少年活動の多様化、変化に柔軟に対応でき、子どもたちを支援していく観点をもつ青少年育成指導者を育成するための講演会や研修会を開催します。
- 子どもたちが主体的に活動でき、豊かな人間性や健全な心身の育成など、生活に必要なスキルを養うことができるよう、大人とのパイプ的役割を担い地域での活動支援も行うジュニアリーダーを、研修や体験活動を通じて育成します。
- 家庭・地域・行政が一体となって、地域の身近な育成組織である育成会や子どもクラブ等を支援する気運を高めます。
- 様々な体験活動の場を提供し、その体験を通じて各年代と交流することにより、社会生活での規律・規範を身に付け、価値観の多様化を理解し社会環境に慣れ親しむことができる子どもたちの育成を推進します。
- 青少年が各世代と気軽に交流できる場を創出するなど、青少年が地域社会へ参加しやすい環境づくりを進めるとともに、青少年の体験活動やボランティア活動等に関する情報をホームページやSNS等を活用し発信します。

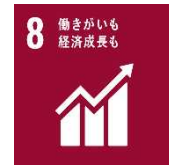
## 仲間とふれあい健全な心身を育むスポーツの推進

- 市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでもスポーツを始められるよう、ヨガ教室や体幹トレーニング教室等のプログラムを提供し、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境整備を推進していきます。
- スポーツレベルと技術の向上に向けて、トップリーグ競技を誘致し高レベルな選手たちを身近に体感できる機会を提供するとともに、スポーツライフを安心安全に楽しむことができる環境づくりを行い、スポーツに対する関心や意欲の向上を図ります。
- コロナ感染症対策ガイドラインに対応した新しい生活様式を提示し、自粛気味だった各種スポーツ団体主催事業に対しての活動支援を推進します。また、総合型地域スポーツクラブが持続可能な運営体制になるようさらなる支援に努めます。
- スポーツ指導者の人材育成を目標とした講演会等を開催し、競技スポーツの安全性かつ技術的な指導方法等を学ぶ機会を提供します。また、スポーツ推進委員、体育指導員の軽スポーツ普及における指導者の質的向上と活性化に努めます。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおいて、甲州市で事前キャンプを行ったフランス男女ハンドボールチームが金メダルを獲得したことをレガシーとして、子どもたちが努力やフェアプレー精神の尊さを理解し自らの競技力を高め、やがてはトップアスリートとして活躍ができるよう、育成支援に努めます。
- 子どもたちの多様なスポーツの体験機会を確保するため、地域と協働して、中学校部活動の地域移行の取組を積極的に進めます。

## 基本方針3

## 読書活動の推進

SDGs との関連



### 目指すべき姿・取り組みの方向性

図書館が、利用者の多様なニーズに応じた資料収集を図ることで、誰もが本に親しみ、知識を深め、暮らしの課題解決や地域づくりに貢献し、生涯にわたって学び続けられる知的インフラとして、また、情報拠点として活用されるよう取り組みます。

### 現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症により、図書館施設の休館や時短開館、学校・保育所等での読書活動の見合わせなど、大きな影響を受けましたが、予約貸し出しや図書館入館に関する同意書など、独自のガイドラインを作成し、図書館機能の継続を図りました。
- 資料を借りるだけでなく、学習・調査、雑誌や新聞の閲覧、視聴覚資料の視聴など、館内でゆったり過ごせる長時間滞在型の図書館が求められています。
- 図書館を利用していない人への利用促進を図るためにも、全ての方へ図書館の情報がいきわたるよう広報活動の活性化が求められています。
- 高齢者や障がい者を対象とした読書コーナーの設置や大活字本の充実、地域情報を求めて訪れた外国人への対応など、図書館機能の整備・拡充が求められています。

### **本に親しみ豊かな心を育む生涯読書の推進**

- 図書館が、乳幼児、児童生徒、青少年、成人、高齢者、障がい者、妊婦などのすべての利用者が安心して利用できる施設となるよう、管理・整備を進めます。
- 利用者のニーズに対応できるよう、サービス機能を充実させ利用者支援活動に努めます。
- 甲州市の特色ある文化や産業、観光などに関する地域資料や行政資料をはじめ、関係機関等と連携し幅広く資料の収集・整理・保存・提供を行います。特に、勝沼図書館では地域の主産業であるブドウ栽培と発祥の地であるワイン産業に関する資料を収集することで、企画展示や関連講座等を関係機関等と連携を図りながら行います。
- 歴史や文化など、各地域の資料を調査研究、収集、保存ができる環境を整え、その資料を活用できる環境の整備を目指します。特に、塩山図書館では武田信玄公、大和図書館では武田勝頼公の資料・書籍を収集することで、また、歴史的資料、地域資料を活用した企画展や講演会などを企画・実施することで、図書館にある収集資料を市民が気軽に活用できるよう取り組みます。
- 子どもたちの心が豊かに育つように身近に本がある環境を整えるとともに、家庭や地域、保育所等、また、学校や図書館、関連機関と一体となって読書活動の推進や啓蒙の取組を継続します。
- ブックスタート事業、お話会、アニマシオン、ビブリオバトル、各ワークショップ、館内展示など特徴ある活動に今後も取り組みます。





### 目指すべき姿・取り組みの方向性

市民が身近な文化財の魅力に触れることができる機会の創出や、文化財に関する情報発信など、より多くの市民が文化財への関心を高める環境づくりと、文化財の調査研究や保存・伝承のための支援などを継続的に行い、文化財を確実に未来に保存・継承するための取組に努めます。

### 現状と課題

- 本市に所在する指定、選定及び登録の文化財は、国宝 3 件を含め合計 307 件と県内一を誇り、本市の大きな特徴の一つであります。文化財の種別も多岐にわたり、豊かな歴史的背景を反映しているといえます。これらの文化財は、本市の歴史を理解する上で必要不可欠なものであり、特色ある地域文化を形成する役割を担っています。
- 少子高齢化の進展などにより、文化財の保存や伝統芸能などの継承が困難になりつつあります。
- 長い歴史の中で守り伝えられてきた文化財の多くが、経年による劣化や破損により修理を必要としており、後世に継承していくための保存修理事業への取組が求められています。
- 文化財の保護意識の醸成のため、展示・見学会やイベントの開催、情報発信や学習機会の充実を図り、文化財が子どもを含め市民に身近に感じてもらえるような機会の創出が必要です。



## 次世代への郷土伝統と文化財の継承

- 有形文化財は、建築や制作されてから数十年から数百年を経ていることが多く、気象条件や虫害などにより状態は日々劣化していくため、管理計画などを策定し予防対策の検討、文化財の状態を判断し、優先順位をつけて計画的に保存修理事業を行います。また、所有者の負担軽減に努めるため国・県等の補助金の活用を図ります。
- 重要伝統的建造物群保存地区「塩山下小田原上条」においては、保存計画に基づく修理・修景事業や防災事業を実施することにより、集落の特性を維持・向上できるよう取り組みます。
- コロナ禍の影響で伝承団体の活動が大きく制限されており、発表の場を失った団体も多く存在していることや、高齢化に伴い後継者への育成についてが喫緊の課題となっています。今後、伝承団体と協議し、コロナ禍での継承の在り方について検討していきます。
- 本市における文化財の保存・活用に関して、目指すべき将来的なビジョンや具体的な事業等を記載した「甲州市文化財保存活用地域計画」の策定に向けて取り組みます。策定後は計画に基づき、継続的で一貫性のある文化財の保存・活用に取り組みます。
- 「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」について、今後、市景観審議会に諮るための取組を進め、文化庁が選定する重要文化的景観を目指します。同時に、日本遺産「日本ワイン 140年史」とも連動し、ブドウ栽培及び日本ワインの歴史と文化を広く宣伝します。